

Syllabus Id	Syl-130-271(西村教員)		
Subject Id	Sub-130-900031 (A), 900032 (B), 900033 (C)		
更新履歴	2010.3.26 新規		
授業科目名	学外実習 A, B, C	Off-Campus Training A, B, C	
担当教員名	4 年生に対しては, 西村 賢治	5 年生に対しては嶋 直樹	
対象クラス	電気電子工学科 4 年生または 5 年生		
単位数	2 履修単位 (A), 1 履修単位 (B), (C)		
必修 / 選択	選択		
開講時期	集中 (基本的に夏休みに実施)		
授業区分	注: この項目に記入するのは主要科目のみです		
授業形態	実習		
実施場所	各企業にて実施。ガイダンスの場所等は教室で学生に連絡する。		

授業の概要(本教科の工学的、社会的あるいは産業的意味)

夏季休業中に 2 週間 (A) または 1 週間 (B, C) の期間, 企業または研究機関等において実習を行い, 授業で学んだ知識が、生産現場または研究機関等でどのように役立てられるか研究, 開発, 生産活動を通じて認識, 体験するためのものである。実習先では一人の企業人として実務や責任、仕事の進め方そして他社との関係を理解し、自身に必要な技術や仕事に取り組む上で必要となるさまざまな能力を見極めると同時に、実習を通じてキャリアデザインを明確化し、それにむけて成長するためのロードマップをつくり、希望する業種・職種とのマッチングをはかる。

準備学習(この授業を受講するとき前提となる知識)

電気電子工学実験をはじめとする全科目

	Weight	目標	説明
学習・教育目標		A	工学倫理の自覚と多面的考察力の養成
		B	社会要請に応えられる工学基礎学力の養成
		C	工学専門知識の創造的活用能力の養成
		D	国際的な受信・発信能力の養成
	◎	E	産業現場における実務への対応能力と、自覚的に自己研鑽を継続できる能力の養成
E. 産業の現場における実務に通じ、与えられた制約の下で実務を遂行する能力、および自主的、継続的に自己能力の研鑽を計画的に進めることができる能力と姿勢を身につける。			
学習・教育目標の達成度検査	<ol style="list-style-type: none"> 該当する学習・教育目標についての達成度検査を、年度末の目標達成度試験を持って行う。 プログラム教科目の修得と、目標達成度試験の合格を持って当該する学習・教育目標の達成とする。 目標達成度試験の実施要領は別に定める。 		

授業目標

- (1) 社会の中で働くことにより労働観、職業観を育成する。
- (2) 現場において実践的感覚を養う。
- (3) 学問の実際的な意義を認識する。

授業計画 (プログラム授業は原則としてプログラム教員が自由に参観できますが、参観欄に×印がある回は参観できません。)

回	メインテーマ	サブテーマ	参観
第 1 回			
第 2 回		◆夏休みに実施される学生が選択できる科目であるため、次のような手順を踏んで実施される (回数は無関係) ◆	
第 3 回			
第 4 回		プログラムの学習・教育目標, 授業概要・目標, スケジュール, 評価方法と基準, 等の説明	
第 5 回			
第 6 回		・指導教員 (通常担任) が, 本人の希望を考慮しつつ, 受け入れ可能な企業を選定する。	

第7回			
第8回		・企業への依頼は、教務係を通じて行う。	
第9回			
第10回		・実習内容は、企業側担当者と協議し決定する。	
第11回			
第12回		・その後の指導は、企業に依頼する。	
第13回			
第14回		・また、実習生としての様子、成果等の報告についても依頼する。	
第15回			
第16回		・実習終了後、本人から実習内容、成果の実習報告書を提出させる。	

課題とオフィスアワー

実習先において作成する実習報告書

提出期限：実習終了後速やかに。(場合によっては配属先企業に定められた期日までに提出)

提出場所：配属先の企業、または担任

オフィスアワー：実習中の通常の質問は配属先の担当者にまずは問い合わせること。

また、トラブル等が生じたときは学校にいつでも連絡すること

研修が主に行われる夏休みは、教員は出張やお盆休暇や長時間にわたる研究室での実験をすることがあり、電話連絡が付きにくいことがある。その場合、通常の連絡には電子メールやFAXが好ましい。その日のうちに連絡が必要なら教員自宅への連絡も確実である。なお、緊急連絡に際して担当教員と連絡できない場合は、学生係に連絡のこと。

評価方法と基準

評価方法

評価基準

事前・事後研究での学生の対応（20%）、提出された報告書（20%）、企業担当者の評価（60%）として評価する。

教科書等	・事前研修の教材は沼津高専の「学外実習のしおり」 ・実習中の教材は実習先による。
先修科目	4年生までの電気電子工学実験をはじめとする全科目
関連サイトのURL	沼津高専インターンシップ http://internship.numazu-ct.ac.jp/
授業アンケートへの対応	受け入れ可能な企業の紹介を迅速に行うよう心掛ける。
備考	1. 試験や課題レポート等は、JABEE，大学評価・学位授与機構，文部科学省の教育実施検査に使用することがあります。 2. 授業参観されるプログラム教員は当該授業が行われる少なくとも1週間前に教科目担当教員へ連絡してください。 ※平成25年度のE科内の主担当は西村 教員である。（5年生の担当は嶋 教員である） 連絡先 西村教員：電話&FAX 学生に直接伝える 嶋 教員：電話&FAX 学生に直接伝える 学生係：電話 055-926-5732